

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援ハーティKids		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～ 令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～ 令和7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に合わせた内容で取り組んでいる	1対1対応を主としているので、個々に合わせた支援内容で活動することができる。他児との交流が必要な時は都度検討し対応できるように支援内容を再検討している。	それぞれの専門性を活かし、意見交換しながら利用者ごとに合った支援ができるようにしていく。
2	相談しやすい環境	いつでも相談しやすいようにこちらから保護者に声をかけて話しやすいようにしている。	担当者だけでは解決できない内容のときはそれぞれの専門分野の意見を確認し事業所として対応していくようにする。
3	PT/OT/STの専門職が充実している	専門職がそれぞれの強みを生かし利用者に合った支援ができるように意見交換を行っている。	専門性の質の向上

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎をしていない	保護者の送迎時間が合わずキャンセルになる場合がある。	人員の確保も必要な為、送迎対応が難しい。
2	専門性をもたせているため、すぐに利用対応ができないことがある。	利用目的と対応できる専門職が合わないことがある。専門性をもたせながら、多職種が対応できることを増やせるようにしていく必要がある。	専門性を担保しながら様々な利用者に対応できるようにする必要がある。各専門職が他職種の分野の理解を深められるようにお互いの強みを生かせるように社内研修等に対応する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障害児通所支援ハーティKids

公表日 2026年2月20日

利用児童数 35人

回収数 33人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32			1	担当者が手が外せない時には他の先生が少しの間対応して下さったりして困らないようにしてくれています。	基準人員より多く配置しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33				個々での支援なので活動が終わった後に毎回拭き掃除をしてくださったりととてもきれいにしてくれています。	利用者が気持ちよく利用できるように努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32			1	勉強面だけでなく生活面も含めいろんな支援をしている	保護者から日常生活の状況や学校での過ごし方など細かく伺い、支援を行っています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30			3	毎回支援内容をしっかり判断してくれて必要時レベルアップしてくれたりなど工夫をしてくれています。	状況に応じて対応しています。繰り返し必要な場合をそれをプログラムとして行います。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	9	11	個別でゆくりりじっくりらせていただいているので。	交流が必要な場合はその都度対応いたします
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	3	12		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32			1	お迎えの時だけでなく送って行ったときなど少しの保護者の変化に気づいてくれて相談のつてしてくれています。	保護者の変化は利用者へ直接起因することもありますので常に気にかけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	8	14		必要に応じて保護者同士の交流の機会を設けています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30			3		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31			2	STの先生が何でも話を聞いてくれて相談しやすくして本当にありがたいです。	相談しやすいようにこれからも努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1	15		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			6	今のところ発生していないので。	事故が無いように努めます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33				通所する事をとっても楽しみしており先生達が大好きです	楽しい場所と感じられるようにしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	1			通所する事をとっても楽しみしており先生達が大好きです	楽しみながら成長をうながせるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	1			通所する事をとっても楽しみしており先生達が大好きです。毎回丁寧な支援していただき感謝しています。ありがとうございます。	みなさんに満足していただけるように努めます

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	障害児通所支援ハーティKids				公表日	令和8年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	概ね良いが常に2人でスペースを半分にして使っている子も時々いるので広々としたスペースで活動したい時がある。	利用時間が調整できる時は対応するようにします
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	利用後に必ず清掃消毒をしている。	継続します
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	パーティションで仕切るなど完全個室ではないがプライベートは配慮できる。	継続します
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	広くはないが必要な相談や話し合いはできている。	必要に応じて相談業務を継続します
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	相談しやすい環境になっている	継続します
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	第三者とはだれでしょう？	第三者評価機関の評価を行う時は事前に知らせるようにします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	今年度こんな研修があるなど年間の予定やおすすめの研修の紹介が頻回にあると嬉しい。	研修は定期的に紹介しているが、年間でわかることはお知らせするようにします
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	いつでも見られる環境ではあるが担当外の職員が計画を見て共有することは少ない。	職員間で必要な共有はできるようにしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	基本は担当。ときどき話し合っ一緒に活動することがある。	共有できることはしていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2	個別療育なので集団活動の計画はないが、子供の状況に応じて他児と関わる機会を作っている。	支援計画に他児との交流を入れている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	手伝ってほしいことは伝えている	必要に応じて対応します
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	必ずではないがしている	翌日にすることが多いですが今後も実施していきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	どちらともいえない。Thによって違う選択。	個々に対応していきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	よくわからない。就学前からの利用であれば実施されている。	情報共有は行っています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	現在必要な利用者がいないが必要とされるなら提供は可能	必要に応じてた
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3	よくわからない。機会がない	交流の機会が必要であれば検討します
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	機会がない	必要であれば検討します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	機会がない	必要であれば対応します
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎回フィードバックあり	継続します
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	フィードバック時など必要に応じて家庭でできることを伝えている。	個々に対応していきます
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	必要に応じて相談があれば行っている。	個々に対応していきます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	機会がない	必要であれば検討します
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	職員には周知している。家族にマニュアルまでの周知はしていない。避難場所のおしらせはしているので十分ではないか。	実施しています
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	2	訓練まではしていない	アンケートを取った段階ではできていなかった。その後、実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	おやつ提供がない	今後もおやつ提供は考えていない。アレルギーがある場合の除菌は別の物を使用します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	よくわからない	保護者には契約時に説明しています
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1	身体拘束を必要とする児童がいない	必要時に対応します